

【岐阜】

## 福島の小学生、高山で春休み満喫

2012年4月3日

福島県内の小学生三十七人が、高山市内で東海地方の小学生十二人と交流しながら、さまざまな体験をして春休みを満喫している。放射線量を気にせず思いっきり体を動かしてもらおうと「ふくしまキッズ実行委員会」が昨年からの全国展開する支援活動で、県内で開くのは初めて。

実行委は全国のNPOで構成し、三回目となる今回は「ふくしまキッズ飛騨高山」と題し、グリーンツーリズムを進める「ふるさと体験飛騨高山」（高山市）とNPO教育支援協会東海（名古屋市）による共催で開いた。

一行は三月二十九日～四月三日の日程で高山を訪れ、古い町並み散策やアップルパイ作り、ハイキングなどを楽しんだ。二日は一之宮町の一之宮公民館で、本巣市の芸術家中島法晃さんの手ほどきを受け、高山へ来て感じたことや思い出を絵や文字にして一人ずつ半紙に書き、模造紙に貼り付けて横六メートル、縦十メートルの大作に仕上げた。

福島県いわき市の小学六年柴田桃佳さん（11）は「（地元では）放射線量が高いので外で遊ばないようにしている。震災前は自転車に乗って遊んでたけど今は乗ってない。高山では草の上で遊べて楽しい」と話していた。（大沢悠）



絵や文字を書いた半紙を貼り合わせて仕上げた大作＝高山市一之宮町の一之宮公民館で